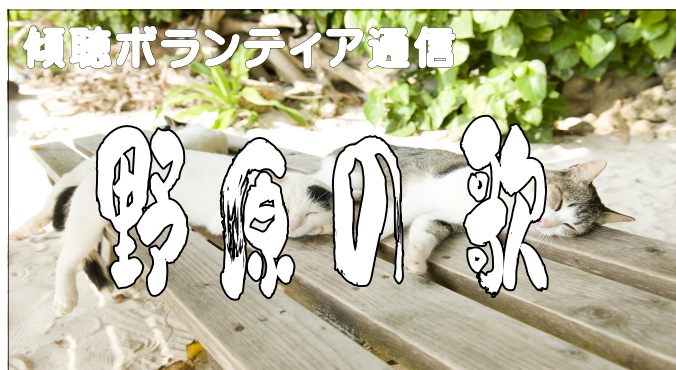




ご多忙の中、総会へのご参加ありがとうございました。
今年も暑い夏、どうぞ熱中症に気をつけてお過ごしください。
傾聴利用者様の体調にも気をつけてさし上げてください。



2025年 5月13日(火)
岡谷市諏訪湖ハイツ



第13回総会

出席グループ 12
出席者数 52名

議長 傾聴みみずく 小口 幸彦 様

ご来賓

長野県健康福祉部 介護支援課介護人材係 係長 山崎 広也 様
主事 篠原 孝太 様

健康福祉部には、長年、会報「野原の歌」を長野県のホームページに掲載していただいています。

○1号議案～6号議案を審議していただき、すべて承認していただきました。
ありがとうございました。

3号議案：連絡協議会規約改定案

6号議案：役員改選案

○要望

日本傾聴ボランティア協会の傾聴講座を開催してほしい。

代表者会議開催保留のお知らせ

総会で提案しました、代表者会議(9月予定)を開催保留とします。

各地区社協への傾聴についてのアンケート(7月末依頼)結果を検討し判断します。



よろしく
お祈りします

新役員

代表	木戸 亮	傾聴みみずく
北信ブロック長	(調整中)	
東信ブロック長	三宅 秀明	傾聴ラポール
中信ブロック長	(調整中)	
南信ブロック長	木戸 亮	傾聴みみずく
監事	北原 五月	傾聴伊那
会計	大渡 敏恵	傾聴虹の会
広報	弓削 淑子	傾聴のぞみ
書記	役員輪番	

研修部	
研修委員	事務局 三宅 秀明
会計	大渡 敏恵
講師	弓削 淑子

長野県傾聴ボランティア連絡協議会

代表 木戸 亮
394-0001 岡谷市上原293-3
TEL 0266-23-7853

講演会

講師 山崎 博之 氏

長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター
主査 社会福祉士

災害時と復興の中で 傾聴ボランティアに望むこと

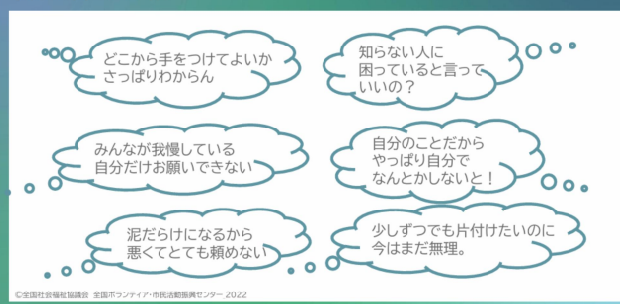
～能登半島地震での長野県福祉チームの活動から～



長野県社会福祉協議会 災害ボランティア・福祉支援本部



被災者の心情



講演を聴いて 学んだこと、感じたこと

傾聴 ラポール 三宅 秀明

講演は、能登半島地震直後の現地の状況と、支援活動について詳しくお話されました。特に、避難所では介護が必要な方のケアに限界があり、長野県福祉チームとして福祉避難所の開設を現地本部に提案・実現しそれ以降の災害関連死などの予防に貢献できたとの話は、強く印象に残りました。県福祉チームは医療・保健・福祉の専門家集団で、傾聴スキルを持ち、連携した地域包括的な活動ができるようになっている。被災時にはこのような地域包括的視点でのケアは重要となる。

外部からのボランティア支援に対し、被災された方の受け止めは複雑で「よそもの」へ頼むことへの警戒・遠慮・迷いがあり、「自分で何とかせねば」とか「どうしていいかわからない」など思いが複雑に絡み合い潜在化している。そのような被災者の発信できない声をどう拾い上げ届けてゆくか? そのためには、声を出されるまで待つ事を含む傾聴のスキルはとても大切である。同時に、台風19号の長野地域での活動事例からも、地域の方々と連携し共同で取り組むことが、被災者の方々の心を開いてゆくためにも大切であると話されていました。

21年間にわたり災害ボランティアに携わってきて、被災者の話をどのように聴き、拾い上げ、届けることが大切と考えるので、傾聴はとても重要と考えるとのこと。地域の方々と共同で、1軒、1軒声を掛けその点を繋げ、線になってゆくことでそこから信頼が生まれてくる。

物を運び汗を流すボランティアは大切だが、声を出せない人に寄り添い、声が出せるまで待ち、声を受け止める傾聴ボランティアは、支援の中で果たせる役割があるのではと感じました。

